『瑞穂豊けき　ふるさと』

登米市立石越中学校　校長室便り　NO 6
R4.10.31　文責　及川　敦

秋が深まり，朝，昇降口前で登校する生徒を迎えているときの風がだいぶ冷たくなってきました。今日（１０月２５日）は，とうとうコートを着てのあいさつ運動です。雪が降る季節になったらどうしようか…と考えてしまいました。

生徒に「おはよう！」と声を掛けると元気にあいさつを返してくれる生徒もいれば，小さい声で「おはようございます。」と答える生徒，声は出さずに頭を下げる生徒などさまざまです。私が中学生のとき，担任の先生の「おはよう！」に対してぼそぼそと面倒くさそうに「おはようございまーす。」と答えていたのを思い出します。

４月・５月のころより，いいあいさつが交わせていると感じています。

ー“石中音楽フェス”参観ありがとうございました。ー

「学習発表会」改め“石中音楽フェス”，生徒の実行委員会で決定されました。自分たちで創り上げた行事でした。多くの生徒が『できた。』『やった。』という感動を得ることができたものと感じています。このような体験が，次への意欲へとつながります。ご家庭におかれましても，ぜひ，お子さまの個人としての活動の頑張りと，お子さまの学級と全校生徒の頑張りを認めていただき，励ましの一言を掛けていただきたいと思います。

それにしても，アトラクションでの生徒の活躍は素晴らしかったです。自分を堂々と表現することができる力，とても大切です。よくやったと頭をなでてやりたいくらいです。







～３年生の実力テスト(10/1・2)の結果から～

約８割の生徒が，前回の実力テストの点数と比較してあがっていました。これはすごいことです。中には，２０点から３０点くらい伸びている生徒も結構いました。さまざまな要因が考えられますが，こういうときに一言，認め，褒めてください。その一言がお子さまの自信につながります。

ー11月7日(月)から三者面談です。ー

お忙しいところ申し訳ありませんが，どうぞよろしくお願いいたします。学校での生活の様子から，保護者の皆さんに認めていただきたいと思っている生徒の良さや進路等についてお話しさせていただきます。特に，各学年，進路の目標について具体的にお聞きします。事前にご家庭で話し合う機会を設けてください。もちろん，相談したいこと，必要な資料や情報等ありましたらお話しください。

ー学力を伸ばすために－





教育学を研究しているある大学教授は，学力を向上させるためには，一見遠回りのように感じるが，１番の近道は子どもに「自分に対する信頼」をもたせることであると話しています。「自分に対する信頼」は上の図のように，自分を肯定し，自分は有用であるという気持ちです。その気持ちの根源は，家庭・保護者からの愛情を得ることによって生まれる保護者への信頼です。さらに，教師からの愛情が「自分に対する信頼」につながるということも言えるのではないかと思います。“励まし”“勇気づけ”“承認”時を逃さず，少しずつ，意識して声掛けしてみてください。学校でも，生徒個々の良さをしっかり見ていきます。「自分への信頼」は，心を整えることになります。心を整えることは，自らの生活規範を整え，子どもたち個々の社会性の醸成へとつながります。

～下校時，特に注意するようお声がけください～

下校時，かなり暗くなってきました。学校でも車や不審者等，十分注意して下校するよう指導していますが。ご家庭におかれましても，お声がけください。

剣道部と吹奏楽部が部活動時間を延長して活動しています。剣道部は県大会，吹奏楽部はアンサンブルコンテストへ向けての延長です。下校は，ご家庭の方にお迎えをお願いしているところです。日々ありがとうございます。

